

私の留学体験記

広島県立大崎海星高等学校 2年 森 奏人（もり かなと）

留学期間 令和元年8月31日 ～ 令和元年9月12日（13日間）

留学先 ウェリントン高校（ウェリントン，ニュージーランド）

今回初めて海外に行き、異文化体験をして気づいたことや初めて知ったこと、驚いたことがたくさんありました。

まず、学校の雰囲気は日本の高校とは全く別物でした。ウェリントン・ハイスクールには制服がなく、みんな私服で学校に来ていました。私服の学校は多くはないようで、他の高校や研修中に訪問した中学校には制服があり、学校の体操服もありました。ニュージーランドに行く前は、海外の学校は全ての学校が私服だと思っていたのですが、そのような学校は多くないことを知って驚きました。また、海星高校にはない授業がありました。“Drama”という演劇の授業で、ホストブラザーと同級生の子だけでなく、違う歳の子もいました。この授業では、いくつかのグループに分かれて、先生に示された場面に合ったセリフや演技を自分たちで考えて発表するものでした。どのグループも個性が出ていて、英語が通じなくても面白いものに仕上がっていました。僕も参加しました。普段、演技を英語ですることがないのですごくいい体験ができました。

次に、ニュージーランドでは、自転車と車が同じ道路を走ることに驚きました。家から学校まではいつも自転車で通っていました。初めてニュージーランドの道路を走った時、最初は道路が広く、左から歩道、自転車道、車道とありました。しかし、次第に道路が狭くなり、車道に自転車のマークが書いてあることに気づくと同時に、ホストブラザーが車道の真ん中を自転車で走っていることに気づきました。それに、自転車が車の前を走っていて速度があまり出ていなくても、後ろの車は煽ってきたりしてこなかったことに驚きました。これがニュージーランドでは当たり前だということを知りました。

さらに、ニュージーランドの家庭生活についてです。僕はニュージーランドに行く前、海外の人はみんな家では土足で、ベッドに上がる時だけ靴を脱ぐものだと思っていました。しかし、僕のホームステイ先では、家に入るとまず靴を脱ぐことに驚きました。海外にも靴を脱ぐ家があるのだと知りました。食事は、日本では毎回米を食べますが、ニュージーランドは毎食同じものがあるとは限りませんでした。パスタやパンを食べたり、サラダを食べたりと、決まった主食というものが無いように感じました。パスタも日本と違って長い麺ではなく、マカロニのようなものでした。お風呂は毎日朝に入っていました。海外では、夜には入らないことを知りました。僕は日本では夜にお風呂に入っていたので、お風呂に入らないままベッドで寝ることに最初は抵抗がありました。2、3日もすると違和感はなくなって、逆にそれが当たり前のようになってきました。僕の滞在した家には浴槽もありましたが、それは使われていませんでした。

今回、ニュージーランドに行くと良かったと思いました。僕が留学した理由は、異文化体験を試みたかったことはもちろんですが、一番の理由は、自分の今持っている英語力がどのくらいなのか知りたかったからです。中学生の頃から英語に興味を持ち、ずっと得意だと思って英語を勉強してきたけど、いざ行ってみるとやはりまだまだ勉強しないとイケないことに気づかされました。リスニングもスピーキングももっと鍛えていく必要があります。次回、留学をする機会があったら、今回の課題を克服し、レベルアップして、新たな自分の目標が達成できるよう頑張ろうと思います。